



那覇市芸術監督

平田 大一さん



平田大一さん

六月二十九日、那覇市芸術監督である平田大一さんのタウンミーティング「地域でつくる新たな『城(ぐすく)文化』」

『城(ぐすく)文化』は首里城を活かしたマチづくりへの新たな提案が首里公民館で催されました。平田さんは小浜島出身の詩人で、地域と文化に関連した舞台の脚本・演出も手がけ、特に、勝連の「肝高の阿麻和利」は子供たちが主役となる舞台として有名です。那覇市でも二〇〇五年より子供たちとの舞台「仮燃ゆる首里城」を製作中です。

会では、平田さんがこれまで行ってきた活動や小浜島のエピソードを交えたユニークな講話があり、時折交える笛・太鼓・三線や歌に、参加者が目を閉じて聞き入る場面もありました。「地域づくりの種まきは子供の頃から行うこと、感動体験が重要で、首里の子供たちにもその機会を提供すべき」と語る平田さん。「文化立国」を掲げる平田さんの目標は、世界遺産である首里城やグスクを活用したアジア子供演劇祭の開催。製作中の舞台にも首里城をテーマとしながら、「綾門大綱復興」など、地域の取り組みのエッセンスも取り入れた」と意欲を語りました。



タウンミーティングの様子



わらべうた講座の様子

●お問い合わせ：NPO法人うていーらみや TEL.866-5083

ウグシク情報

ウグシク(御城)とは、首里城のことです。元々は敬称ですが、首里では今でも親しみを込めてこの呼び方を使います。

「子育てわらべうた」首里編」発行

NPO法人うていーらみやは、沖縄の自然と文化を通じた教育と研究を目的に活動する団体です。月に首里のわらべうたのCDとテキスト「子育てわらべうた」首里編」を発行しました。この事業は独立行政法人福祉医療機構の助成を受け、「首里人の文化研究会」の協力により、三力年かけて採取したわらべうたの集大成。首里独自のわらべうたや言葉と共に、解説とイラストが添えられています。

「何気なく口ずさんできた歌が、若い人の手によって価値あるものになって満足している」と首里人の文化研究会の方々。製作に携わった田中美也さんは「わらべうたに込められる豊かな精神文化や子育て文化を次の世代に渡す術ができた」と語ります。

今回の成果は子どもたちへのわらべうた講座などで活用されており、九月には沖縄わらべうた協会の発足を予定しています。

Vol.5 SHURIKAWARABAN 首里かわらばん

首里には魅力的な歴史資源があると同時に、それを支えて活動する人たちがいます。この首里かわらばんでは地域で活躍している人たちを紹介していきます。

特集 首里三箇のまちづくり

会長 久高友弘さん 副会長 比嘉朝文さん

首里三箇(さんか)とは、赤田町、崎山町、鳥堀町の総称で、王国時代には酒造業が行われていた地域です。この地で地域活動を行っている久高さん、比嘉さんにお話をうかがいました。



記者：首里三箇の特徴を教えてください。 比嘉氏：戦前、首里には二つの顔があったと言われています。ひとつは御殿(ウダウン)・殿内(トウン)が立ち並ぶ「西方」、もうひとつが赤田・崎山・鳥堀をまとめた「三箇」です。三箇は、水量が豊富な地形だったことから首里王府が薩摩へ上納する泡盛を造る「酒屋(サカヤ)」が立ち並ぶ地域でした。戦前は七〇余りの酒屋があり、酒造業と関連して養豚も行われていたそうです。気質もたくましく生活意欲が盛んだと言われます。王国時代から続く地域特性が、今でも赤田・崎山・鳥堀はすなわち三箇、又は泡盛といったイメージにつながっていると思います。

三青会の活動

記者：三青会の取り組みを教えてください。 久高氏：三青会は「地域の青少年は地域住民で守り育てよう」をスローガンに、平成五年、三町の五自治会と城南小学校のPTAで設立した健全育成会です。資金は各自治会の分担金、場所は各公民館を持ち回りで利用してい



三青会の夜間パトロール

比嘉氏：これまで三箇の史跡巡りや蝶を呼ぶ活動として城南小学校の蝶々園や果樹園づくりの協力もしました。最近では、那覇市の崎山公園の整備に関連して、建設委員会を組織して地域の要望を提案し、三月にオオゴマダラの食草と桜の植樹会を行いました。記者：健全育成活動だけでなく、地域活動の窓口にもなっているわけですね。

久高氏：地域と行政、地域と学校を結ぶ役割を担っていると思います。三青会の活動以外にも、各町や城南小学校の行事にも積極的に参加しています。三箇のユニークなところは、他町の行事にも自分の町のように自然に参加できる点です。三箇を基盤としたネットワークが生きているということだと思います。

催事情報 <10月~11月>

Table with 4 columns: 名称, 日時, 場所, 備考. Lists events like '琉球王朝-中秋の宴', '首里城祭', '首里文化祭', and '綾門大綱復興・ゆいフェスティバル'.

首里城から

六月に着任した上原勝信管理センター長。首里城開園当時は、沖縄県の都市計画課公園緑地係長として龍潭、首里杜館整備などを担当していました。「沖縄の宝を次の世代へ」という財団法人スローガンの下、毎日頑張っています。最近では、出勤前に首里周辺の歴史散策を楽しんでいます。



首里城公園管理センター長 上原勝信さん

情報お待ちしております。

首里かわらばんでは首里地域の歴史文化を染しめる情報づくりを目指しています。身近にある首里の魅力、地域の活動などの情報提供をお待ちしております。

●お問い合わせ 事務局 TEL 862-2390



SHURIKAWARABAN Vol.5 首里かわらばん 第5号 2006年8月発行 編集 首里かわらばん編集会議 事務局 内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備局 〒900-8530 那覇市前島 2-21-7 TEL 098-862-2390 FAX 098-866-9049 発行 (財)海洋博覧会記念公園管理財団 首里城公園管理センター 〒900-8815 那覇市首里金城町1-2 TEL 098-886-2020 FAX 098-886-2919 タイトルデザイン 石原左内 首里城公園ホームページ http://www.shurijo.com/

記者：一番誇れることは何ですか。 久高氏：会としては活動を継続して実施していることだと思います。また三箇の一番の良さは団結力の強さです。三箇と首里全体が勝負できるほどの団結力が昔からあったと言われます。 比嘉氏：泡盛に親しみを持つ地域ということもあり、活動の後には必ず懇親会を設けます。それが形式的ではなく、地域の人が知り合う、人の和ができる機会となっているのも三箇の特徴だしユニークさだと思います。

今後の取り組み

記者：今後の展望をお聞かせ下さい。 比嘉氏：青少年の健全育成にはパトロールのような抑止力だけでなく、地域環境や教育環境づくりが大事だと思います。そこで環境問題や緑化などを合わせたまちづくりを進めています。また、健全育成には、悪をつみ取るのではなく、良いことに導く「善導」が重要です。例えば、子供達が旗頭に入るのもそのひとつで、地域へ参加していくきっかけになります。それを育てていくのが大人の仕事だと思っています。こうした三箇の活動をアピールしているのが城南タイムスです。

久高氏：三箇は沖縄の一地域だが、その地域の和が広がりをもって沖縄全体に浸透していけばいいと思います。そのためにもまず地域を良くすることが大事だと思っています。継続は力なり」とあるように、今の活動を大事に続けていきたいと思っています。

語句解説

- ◆御殿・殿内:琉球の上流階級である士族の屋敷。 ◆旗頭:綱引き行事の応援旗。首里では青年会が中心となって旗頭を継承しており、各町のシンボルとなっている。

比嘉さんが発行している城南タイムス